



卓球シリーズランキング (7月10日現在)

1位	卓球男	1575P
2位	モコちゃん	975P
3位	大橋靖生	905P
4位	YAYOPY	815P
5位	平田伸彦	785P
6位	森真澄	775P
7位	SMAP LOVE	640P
8位	西門裕次	510P

ディケア
宮原杯(7月9日)
「元祖卓球Dr」と呼ばれる宮原部長。長年ディケアで卓球の腕を奮っていた事がその名の由来である。試合前、宮原Drは静かに語る。「私はベストを尽くすだけです。」「身体中闘気に満ち、傍に立つと身が焦げるような錯覚を起こす程である。しかし：激闘の末、宮原Drは1回戦1ポイントも取れず負けた。」



空振り直前の宮原Dr

ディケア
戦国時代にタイムスリップ
7月17日(金)、「櫻庭Dr」と歴史めぐりで関ヶ原ウオーランドを訪れた。平野の上に二百体を超える等身大の人物が配置され、合戦の最中を闊歩できる。櫻庭Drは「武士の血が騒ぎます。」「と吹きながら一心不乱にシャッターを切っていた。」



この人は櫻庭Drではなく島左近

私
の
自
慢
今月登場していただくのは養南レジエントの一角施設管理課長の岩山登さん(65)。意外と言わざるを得ないその趣味はサーフィン。伊良湖、伊勢、福井や湘南の波にも乗ったことがある。ショートボードを愛用し、サーフィン歴は十数年。海で良い波を待ち、浮いている間に離岸流に流され30分かけ岸まで戻った経験もある。



仕事でも浮いてますけど

養南新聞

発行所
社会医療法人緑峰会
養南病院
〒503-0401
海津市南濃町津屋1508
☎(0584)57-2511
Fax(0584)57-2513
http://www.younan.or.jp
younan@ogaki-tv.ne.jp

山内ハ部長に大臣表彰!



受賞に相応しい十分な貢献

◆厚労相から功労賞
このたび当院リハビリテーション部長の山内美代子さん(68)が厚生労働大臣表彰を受けていたことが分かった。
表彰されたのは全国で僅か26人。東海エリアでは唯一の受賞で、長年にわたる精神科看護功労者としての功績が評価された形だ。
山内さんは昭和42年に看護師となり岐阜大学病院に勤務、昭和58年の開設時から養南病院で活躍。昭和62年からは2代目看護部長として長年にわたり養南病院を牽引。平成24年よりハ部長を務める。「とにかく長くやってきただけ。周りのスタッフや患者さん達に育ててもらったようなもので

卓球シリーズ2015
第8戦全養オープン
8月10日(月)ディケア
★養南のウィンブルドン★
初代王者は誰の手に!

◆今年の親衛隊決定
8月1日(土)の夏祭りに向け養南病院演芸部が「みかる親衛隊」第3期生を募集。見事オーディションに合格し、晴れて親衛隊入りしたのは、(写真右から)中川千恵さん(事務)、武藤有加さん(栄養)、土江悠加さん(相談)、大木比佐子さん(栄養)、平里美さん(ディケア)の5人。
今年2代目隊長に就任した油川智香さんは「今年のダンスは動きが激しい。新メンバーの若さに期待したい。」と話した。



「私達そんなに若くないんですけど…」

す。」と、本心かどうかはともかく謙虚に語り、かつ「鬼の」婦長」と恐れられたいとは思えぬいい笑顔を見せてくれた。

みかるの
病院ミシユランガイド
「外来駐車場」
養南病院の敷地内は緑が充実しているね。この夏新たに殺風景だった駐車場にお花畑ができたよ。うな。お手入れも苦労様です。ケンシロ・じやなくして施設管理課の川地守さん!
「どこを見渡しても素敵な養南病院ガーデンだろ。」
川地さんがお花畑の担当のようなの?
「花の勉強しながらレイアウトも考えてるんだ。」
ふーん。これはなんていうお花?
「..わかんない!」
「..わからん!」
「..わからん!」
「勉強してるんじや?」
「勉強はしたがセンスが無いつて却下された。」
「やっぱり川地さんにお花は似合わないよな。」



ガテン系のセンスに☆1つ!
林「ホントに水かけて大丈夫ですかね?」
川地「...わからん!」

食へのこだわり
「箸」
給食で使われている箸がリニューアルされた。衛生的で変形しにくい樹脂製を採用。持ち手部分は六角形で先端には滑り止めがあり、使いやすいデザインになっている。「重厚感があり、高級なイメージの黒を選びました。いい箸を使うと美味しく感じますもんね。」と丸山一代栄養課長は話す。
「確かにこの箸ならまずい物も旨く感じるわ。」と入院患者のAさん。「まずいものなんか出してませんつ!」(丸山)



居眠りは許しません
参加者は解読され、改めて理解を深めた。
「あたいらの料理に箸は関係ねんだよ」奥村さん(左)と金森さん(右)

◆勉強会②
7月6日(月)、川崎康隆事務局長より「医療事故調査制度」について講義が行われた。川崎事務局長は「転倒・転落や誤嚥の防止策を徹底し、医療事故を発生させない仕組みや職員の共通認識を高めることが重要。」と強調した。

◆家族教室
7月19日(日)ディケアセンターにて気分障害の家族教室が開催された。講師を務めた薬局渋谷雄太係長は「病気は良くなったり悪くなったりを繰り返しながら徐々に回復へと向かうので、薬は毎日用法用量を守って服用することが大切。」と語った。

◆勉強会①
6月29日(月)、宮嶋佳苗係長より「気分障害について」の講義が行われた。講義の中では特に双極性障害を見逃さない「ツナ」などがわかっていく。参加者は解読され、改めて理解を深めた。
「あたいらの料理に箸は関係ねんだよ」奥村さん(左)と金森さん(右)

リハビリの小窓
「みんなで踊ろう夏祭り」
8月1日(土)の夏祭りに向け盆踊りの練習が始まった。毎日行われるエクササイズの後半に組込まれているため、少々の疲労感はあるが、曲が流れると自然に体が動く。門脇真司作業療法士の「コミカルな動きにも動かし、いたって真剣な練習をしており、当日の仕上がり、当日が楽しみだ。」

◆院内研修DVD化
毎週月曜に開催されている院内研修(研究研修委員会主催)がこのほどDVD化されることが教育管理部より発表された。勤務の都合で見逃してしまった人でも、研修ラウンジにいけば見ることができ、担当する渡邊龍謙さん(総務課)は「希望すればレンタルも可能。是非活用してほしい。」と話した。

◆「松本ハウス」岐阜で講演
7月18日(土)、講演会(大塚製薬主催)の特別ゲストとして、お笑い芸人の松本ハウスが登場。ネタやトークで大いに会場を沸かせた。
松本ハウスは統合失調症を患うハウス加賀谷(41)と相方の松本キック(46)の2人組。「ボキャブラ天国」に出演していた人気絶頂期に症状再燃し、突如芸能界から姿を消したその10年後、見事リハビリを果たし現在は病気の理解を深める為の講演活動を全国的に行っている。トークショーの司会を務めた関谷院長は、深刻になりがちな当事者の話を笑いに変え、且つ大いに考えさせられる内容で感動した。」と話した。



写真右から松本キック、関谷ミッチ、ハウス加賀谷